

慶雲寺報

お盆月となりました

とても遅い梅雨明けでした。いきなりの夏空ですが、山内一同、除草およびドウダン刈り込みにいそしんでおります。

この暑さの中、お墓掃除に見える方がおられ、頭の下がる思いです。各家のお墓やお仏壇のご準備はいかがでしょうか？

ご先祖様のおられない墓地区画も、雑草の種子が他へこぼれますので、除草下さいませようよろしくお願いいたします。

墓参の心得

お墓参りの際は、

まず本堂のご本尊様に手を合わせてから、

「自分の家のご先祖様のお墓に」

お参りしましょう。

墓地通路から直接当家のお墓へと向かう方の姿を良く見かけます。しかしながら、**山門をくぐり、まずは本堂をお参りする**のが正しいお参りの仕方です。

体調に不安のある方は致し方ないですが、まずは、本堂正面の外香炉で、本尊さまをお参りする

NEWS

* 栃木県曹洞宗青年会 研修旅行

六月二十五日～二泊三日の行程で、副住職が加入している栃木県曹洞宗青年会の研修旅行に参加してきました。

戦後六十年余を経て、戦争を知らない青年僧侶が、不戦への想いを新たにすべく企画された今回の研修旅行。今年の目的地は、先の大戦で陸軍特攻隊の基地があつた鹿児島県/知覧町でした。



現地では「特攻平和祈念館」を見学。隣接する「特攻平和観音堂」にて参加者一同で慰霊法要をお勤めしてきました。

特攻という特殊な環境に置かれた青年と家族、そして地元の人とのふれあいと別れの数々。生々しく綴られた手記を目の当たりにし、「二度と繰り返してはならない」と、強く心に誓って参りました。

* 盆棚経について

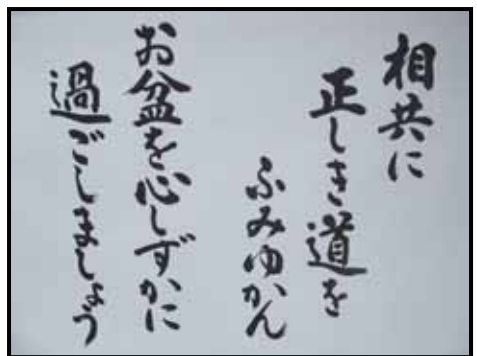
別紙の通り予定表が刷り上りました。

該当のお宅宛にのみ、棚経の日程表を『寺報』に添えてお届けしております。

この日程に都合悪しき場合は、

慶雲寺(672-0585)へ111報ください。

伝道掲示板から



《忙しい》という字は、《心が亡ぶ》と読み解くことができます。心に波風が立ち、イライラが溜まって、思いやりの気持ちを持つてなくなるのは、決まって忙しさに追われている時のような気がします。

一方で、《正しい》という字は、《一》+《止》と書きます。すなわち、正しい方向に進むには、【一度・止まって】我が身を見つめ直すことが必要ということになるでしょう。

来たるお盆は、年に一度ご先祖さまがご自宅にお戻りになる日だと言われております。季節の品々や生前お好きだったものをお供えしてご接待するのが報恩感謝のお勤めとなるでしょう。お勤めやレジャー等、それぞれの予定はおありでしょうが、年に一度戻ったご先祖さまと共に、また縁ある方々と共に、「正しき道」を歩めることを願いながら、心しずかに過す時間【一度・止まる】機会を作ること大切なことだと思います。

ゴミの持ち帰りにご協力を!

今年も引き続きご協力お願いします。境内墓地の方は、水場にレジ袋が置いてありますのでお使いください。